

三遠南信地域連携ビジョンの推進

三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）



三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）の取組み — 三遠南信地域連携ビジョンの推進 —

平成23年10月24日

三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）

I 三遠南信地域連携のあゆみについて

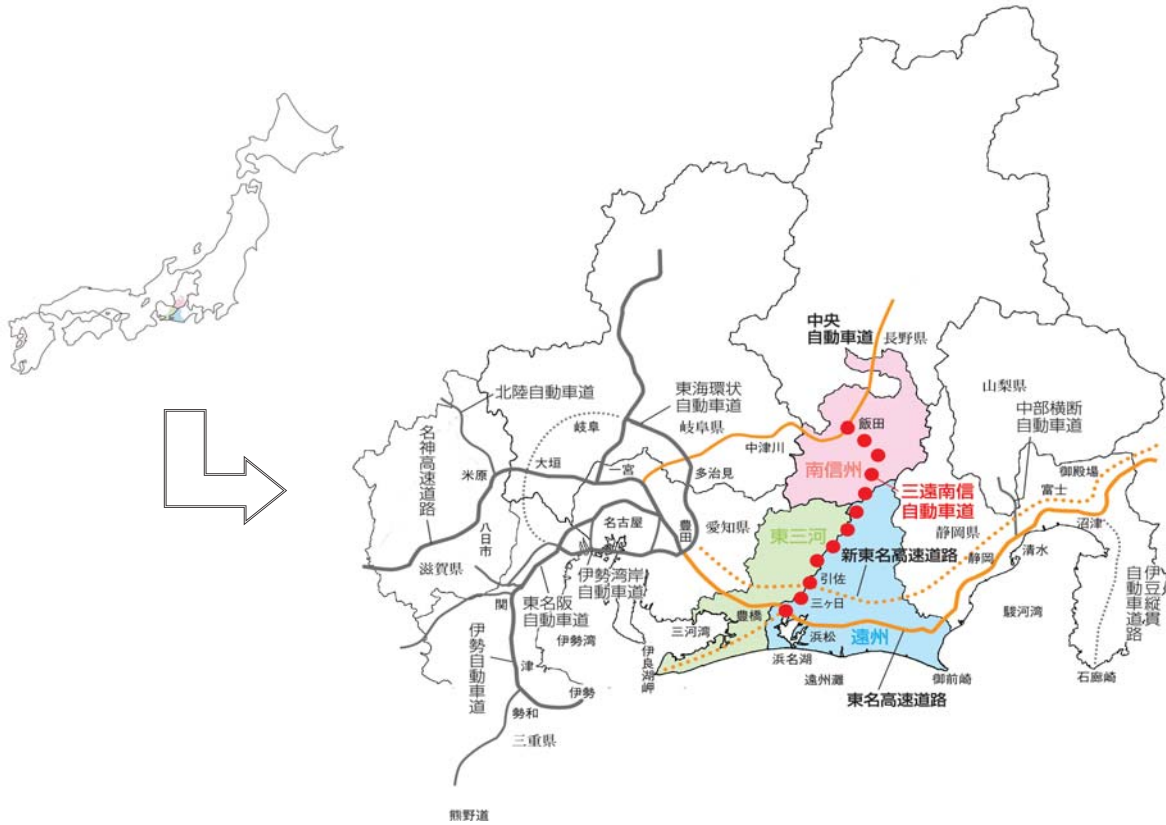
三遠南信とは、

愛知県東部の東三河（ひがしみかわ）地域を「三」、
 静岡県西部の遠州（えんしゅう）地域を「遠」、
 長野県南部の南信州（みなみしんしゅう）
 地域を「南信」とした、
 3県の県境にまたがる地域です。



人	口	約 230万人
総	面積	約 6,060平方km
農	業産出額	308,360百万円
製	造品出荷額等	13,797,391百万円
年	間商品販売額	5,882,218百万円
三遠南信地域連携ビジョン策定時点（H20.3）		

1 三遠南信の圏域①



1 三遠南信の圏域②

【凡例】
 ※1は商工会議所がSENA構成員
 自治体がオブザーバー参加
 ※2は自治体がオブザーバー参加
 ※()の数字はSENA構成員の市町村数

長野県伊那市のオブザーバー参加
 SENA委員会承認 平成23年9月28日

東三河地域 (8)

愛知県

豊橋市・豊川市・蒲郡市
 新城市・田原市・設楽町
 東栄町・豊根村

南信州地域 (14)

長野県

飯田市・松川町・高森町・
 阿南町・阿智村・平谷村・
 根羽村・下條村・売木村・
 天龍村・泰阜村・喬木村・
 豊丘村・大鹿村

遠州地域 (5)

静岡県

浜松市・磐田市・袋井市
 湖西市・森町



H23.4.1現在

2 三遠南信地域の歴史的つながり

三遠南信地域は、天竜川、豊川の両河川の流域であることから、これらの河川を利用した水運が盛んでした。

また「塩の道」と呼ばれる三州街道（飯田街道）、遠州街道（秋葉街道）、中馬街道などの陸運によっても平野部と内陸部とが結ばれ、交流が活発に行われていました。

これにより、この地域は、文化、経済、信仰など様々な分野において、行政の境界を越えて独自の生活文化圏を形成してきました。

この生活文化圏は、戦国大名による勢力圏の変遷や明治維新による政治的な意図に基づく地域分割にもかかわらず、現在も続いています。



荷物を運ぶ中馬



川合花の舞（遠州 浜松市佐久間）

5

3 広域的な取り組みの経緯

- | | |
|---------------|--|
| 昭和27 (1952) 年 | 「天竜・東三河特定地域総合開発計画」(国土総合開発法) |
| 49 (1974) 年 | 「天竜奥三河地域総合調査報告」(3県知事会合意に基づく) |
| 60 (1985) 年 | 「三遠南信トライアングル構想」(中部経済連合会策定) |
| 62 (1987) 年 | 「四全総」により「三遠南信自動車道(高規格幹線道路)」位置づけ |
| 平成 5 (1993) 年 | 「三遠南信地域整備計画結果の公表」 |
| 6 (1994) 年 | 「三遠南信地域整備連絡会議」設立 ①
(建設省、長野県、愛知県、静岡県、59市町村、中部経済連合会、飯田・豊橋・浜松商工会議所)
「第1回 三遠南信サミット&シンポジウム」開催 |
| 8 (1996) 年 | 「三遠南信地域交流ネットワーク会議」設立(59市町村) ② |
| 9 (1997) 年 | 「三遠南信地域経済開発協議会」設立(68商工会議所・商工会) ③ |
| 17 (2005) 年 | 「三遠南信自動車道早期開通期成同盟会」の設立 |
| 20 (2008) 年 | 「三遠南信地域連携ビジョン」を合意(20年3月策定)
「三遠南信地域連携ビジョン推進会議(SENA)」の発足(20年11月) |
| 21 (2009) 年 | 「三遠南信、浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進議員協議会」の発足
(飯田・豊橋・浜松の3市議会)
「三遠南信地域連携ビジョン推進会議(SENA)」の事務局体制の強化(浜松市・豊橋市・飯田市の職員で事務局を構成) |
| 22 (2010) 年 | 「三遠南信、浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進議員協議会」の改組
(東三河、遠州及び南信州地域の市町村議会の議員により構成)
「三遠南信地域市町村議会議長協議会」の発足
(東三河、遠州及び南信州地域の市町村議会の議長により構成) |

※①～③は、SENAの構成員

6

4 三遠南信サミットの歴史

回数	開催日	開催テーマ	開催場所
1	H6.2.10	三遠南信地域に今、21世紀の風が吹く *「三遠南信サミット&シンポジウム」として開催	浜松市
2	H6.11.21	交流がつくる三遠南信の未来	豊橋市
3	H7.10.11	次代に向けて動く三遠南信 ～地域を変える交流の創出～	飯田市
4	H8.11.22	三遠南信地域の新たな連携と共生に向けて	浜松市
5	H9.11.17	三遠南信地域の新たな連携 ～循環型社会の構築と新たな活力の創造～	豊橋市
6	H10.10.8	三遠南信の新たなステージをめざして ～交流から参加と連携へ～	飯田市
7	H11.7.23	人が、物が、そして地域が動く *「三遠南信サミット」と名称変更	雄踏町
8	H12.7.26	絆、そして融合 ～三遠南信地域の明日をめざして～	豊橋市
9	H13.11.8	交流の新たなステージへ ～21世紀 三遠南信地域住民交流の創出～	飯田市
10	H14.7.24	快適空間・三遠南信 ～元気な観光・交流の新たな創出～	浜松市
11	H15.10.27	まるごとミュージアム・三遠南信 ～魅力再発見からもてなしのまちづくりへ～	豊橋市
12	H16.11.25	新たな歴史の扉を拓く ～三遠南信からの発信～	飯田市
13	H17.11.4	三遠南信・新たな時代の幕開け ～夢街道いよいよ実現へ～	浜松市
14	H18.10.23	三遠南信・圏域の創生をめざして ～つながる 広がる 躍動する～	豊橋市
15	H19.11.14	将来(あす)への展望 ～今、三遠南信地域の新たな協創のとき～	飯田市
16	H21.2.10	三遠南信250万流域都市圏の創造に向けた挑戦5	浜松市
17	H21.11.13	日本の県境連携モデルの構築 -三遠南信地域連携ビジョンの実現に向けて-	豊橋市
18	H22.11.12	地域主権時代における県境地域連携モデルの推進 ～融合に向けた自発的な地域づくりの実践～	飯田市
19	H23.10.24	三遠南信流域都市圏構築への挑戦 ～融合、新たなステージへ～	浜松市

H18
道州制において
同じ道州を目指
すことを決議

H19
三遠南信
地域連携ビジョン
を合意

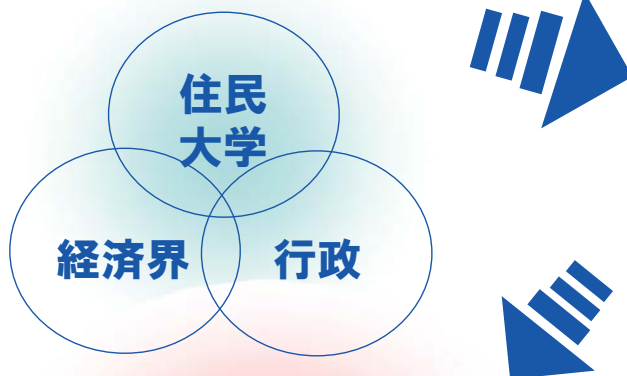
H20
三遠南信
地域連携ビジョン
推進会議の立ち上
げにより本格的な
稼動

7

II 三遠南信地域連携ビジョンについて

検討委員会

(平成18年10月設置)



三遠南信地域連携ビジョン 平成20年3月策定

<新たな地域振興の指針>

(構成員全員の書面決議)

三遠南信サミットで合意

三遠南信地域連携ビジョン

「目指すべき地域像」

「地域連携事業の方針」

<H19.11.14 >



8

1 三遠南信地域連携ビジョンの概要

■三遠南信地域連携ビジョンの将来像

—世界につながる日本の中央回廊—

三遠南信250万流域都市圏の創造

■目指すべき地域像



①日本の中央回廊の形成

太平洋側と日本海側の両地域を東西日本の中心で結ぶ

②大伊勢湾環状地域を構成する中核的都市圏の形成

伊勢湾を中心に産業や文化等の多様なネットワークを構築

③流域循環圏の形成

上下流域が環境や経済をはじめ、広範な分野で有機的にネットワークする「流域循環圏」を構築

■五つの目的

- 道州制や国土形成計画など県境を越える地域づくり制度へのアピール
- 経済活動のグローバル化に対応した県境を越える産業競争力の強化
- 市町村合併による地域構造の変化に対応した広域行政の推進
- 地域連携活動の相乗効果の発揮
- 県境を越えた社会基盤を活かした地域づくり

■目標期間

三遠南信地域連携ビジョンの目標期間は、概ね10年間とし、三遠南信地域の目指すべき将来像と連携事業の方針を定める。

■策定体制

- 三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENAセナ）
 - ・平成20年11月に立ち上げ、事務局を浜松市に開設
 - ・平成21年4月に豊橋市、飯田市職員が事務局に加わる
- 三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENAセナ）の役割
 - ・重点プロジェクトの推進
 - ・重点プロジェクトの評価・見直し
 - ・道州制等の国の動きに対する働きかけ
 - ・NPO法人や企業等が取り組む連携活動に対する支援

■五つの基本方針



中部圏の中核となる地域基盤の形成



持続発展的な産業集積の形成



塩の道エコミュージアムの形成



中山間地域を活かす流域モデルの形成

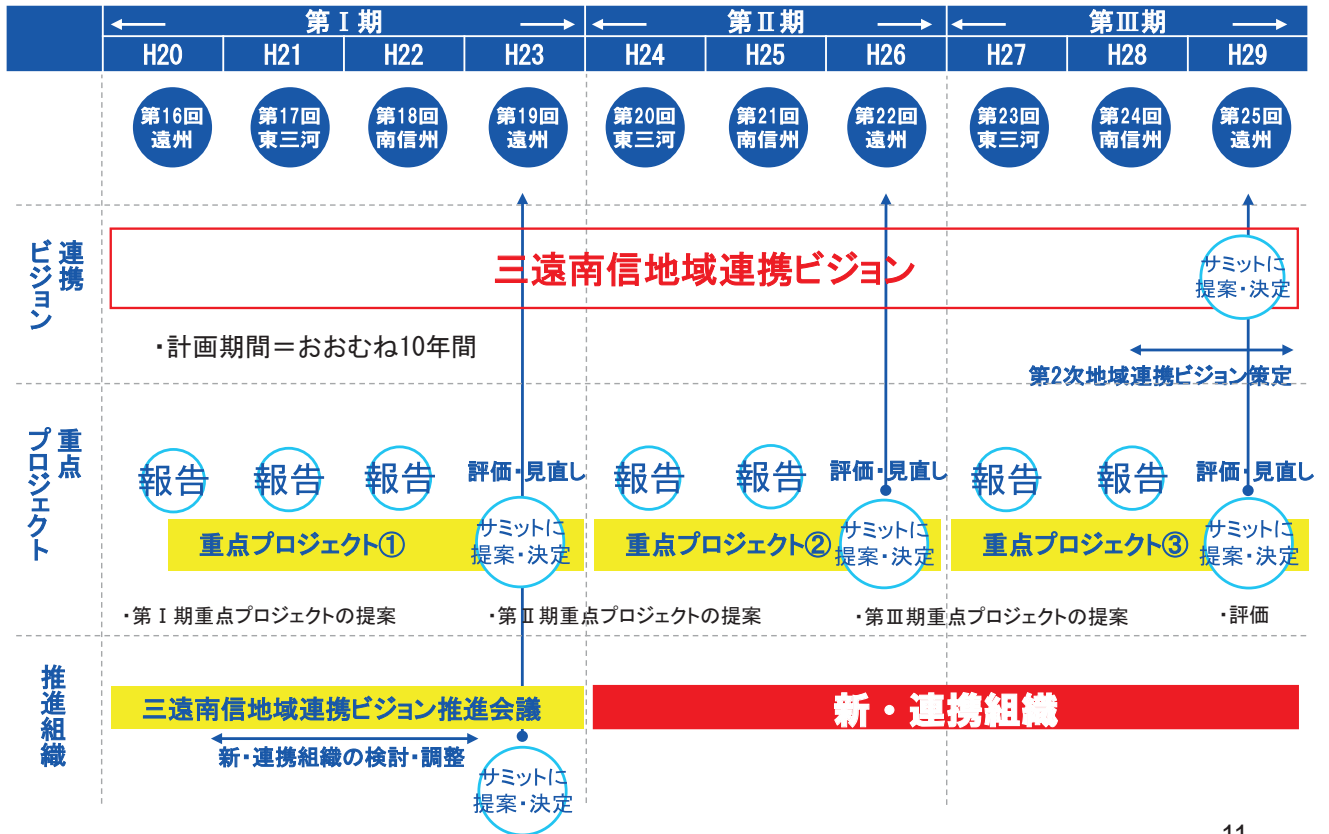


広域連携による安全・安心な地域の形成

2 五つの基本方針と重点プロジェクト

連携事業の政策体系			重点プロジェクト
テーマ	政策の基本方針	推進方針	
三遠南信250万流域都市圏の創造 —世界につながる日本の中央回廊—	中部圏の中核となる地域基盤の形成	人との流動促進	1. 中部圏の中核となる地域基盤の形成 ①三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢連絡道路（伊勢湾口道路）構想の実現 ②三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備と高速道路へのアクセス路の整備促進による国際ゲートウェイ機能の充実 ③リニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置 ④豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備促進 ⑤県境を越えるマスコミの連携 2. 持続発展的な産業集積の形成 ①三遠南信ビジネスマッチングの促進 ②国内外に向けた人材・企業誘致の活動促進 ③特徴ある産業クラスター拠点づくりと県境を越えた事業連携 ④三遠南信地域大学フォーラムの設置 3. 塩の道エコミュージアムの形成 ①「塩の道」風景街道の体制づくり ②地域資源を活かす鉄道の有効活用 ③海外への観光情報発信と外国人観光客誘致の促進 ④三遠南信アンテナショップの開設 4. 中山間地域を活かす流域モデルの形成 ①「健全な水・物質循環」の構築に向けた共同プロジェクトの推進 ②上流域と下流域の自治体が連携した流域定住の推進体制の整備 5. 広域連携による安全・安心な地域の形成 ①医療分野の県境を越える連携の促進 ②三遠南信地域内住民に対する公共施設の広域利用推進 ③県境を越える防災体制の強化
		情報の流動促進	
	持続発展的な産業集積の形成	既存産業の活力増進 新規産業の創造と特徴ある産業クラスターの形成	
	塩の道エコミュージアムの形成	塩の道エコミュージアムによる文化の発信 エコミュージアムのプラットフォームづくり	
	中山間地域を活かす流域モデルの形成	自然資源の循環モデルの形成 流域定住推進モデルの形成	
広域連携による安全・安心な地域の形成	生活環境の維持と質的向上 多文化共生の基盤づくり 広域的な防災体制の充実化		

3 三遠南信地域連携ビジョン スケジュール



11

4 三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）

目的

三遠南信地域連携ビジョンのテーマである「三遠南信250万流域都市圏の創造」のため、東三河地域、遠州地域及び南信州地域の県境を越えた地域連携を推進し一体的な圏域の発展を目指す。

事業

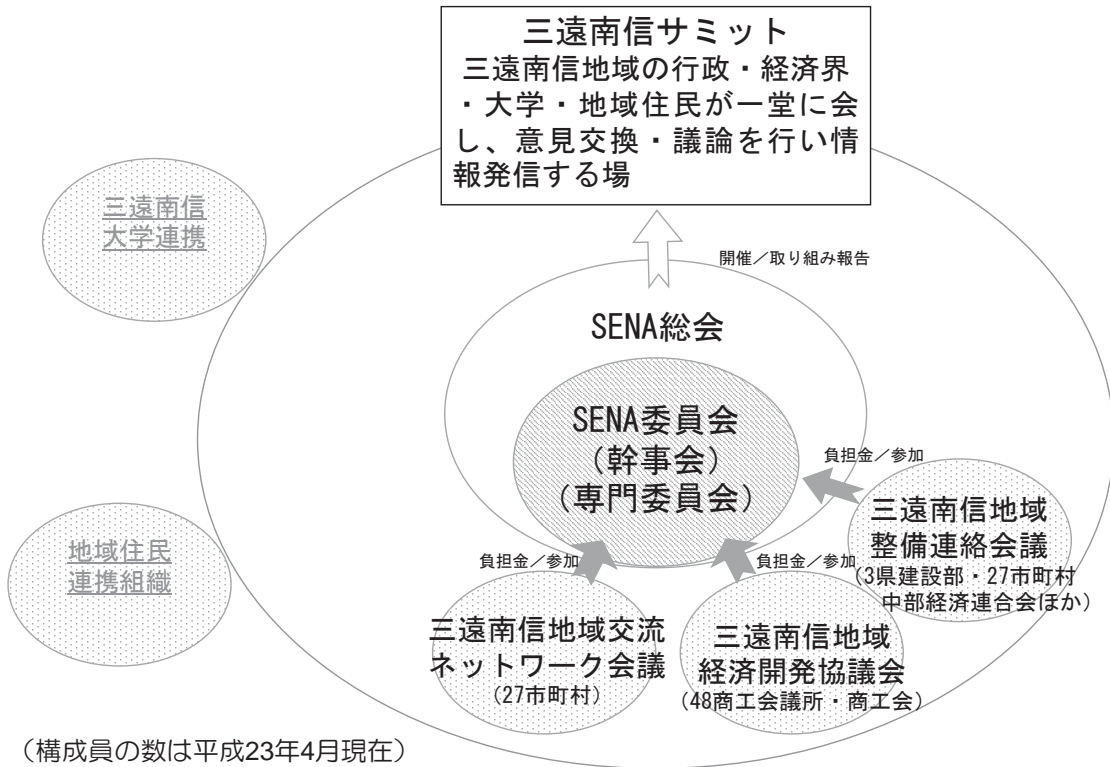
- (1) 三遠南信サミットの開催
- (2) 連携ビジョンに定めた重点プロジェクトの推進
- (3) 重点プロジェクト推進状況の評価
- (4) 道州制に関する国等への働きかけ
- (5) NPO法人、企業等が取り組む三遠南信地域の連携に資する活動に対する支援
- (6) 三遠南信地域の一体的な圏域を確立するための組織の検討
- (7) その他SENAの目的達成に必要な事業

構成員

- (1) 三遠南信地域交流ネットワーク会議の構成員
- (2) 三遠南信地域経済開発協議会の構成員
- (3) 三遠南信地域整備連絡会議の構成員
 - ・連携ビジョンの推進に適切な助言を得るため、アドバイザーを置くことができる。
 - ・必要に応じて、オブザーバーを置くことができる。

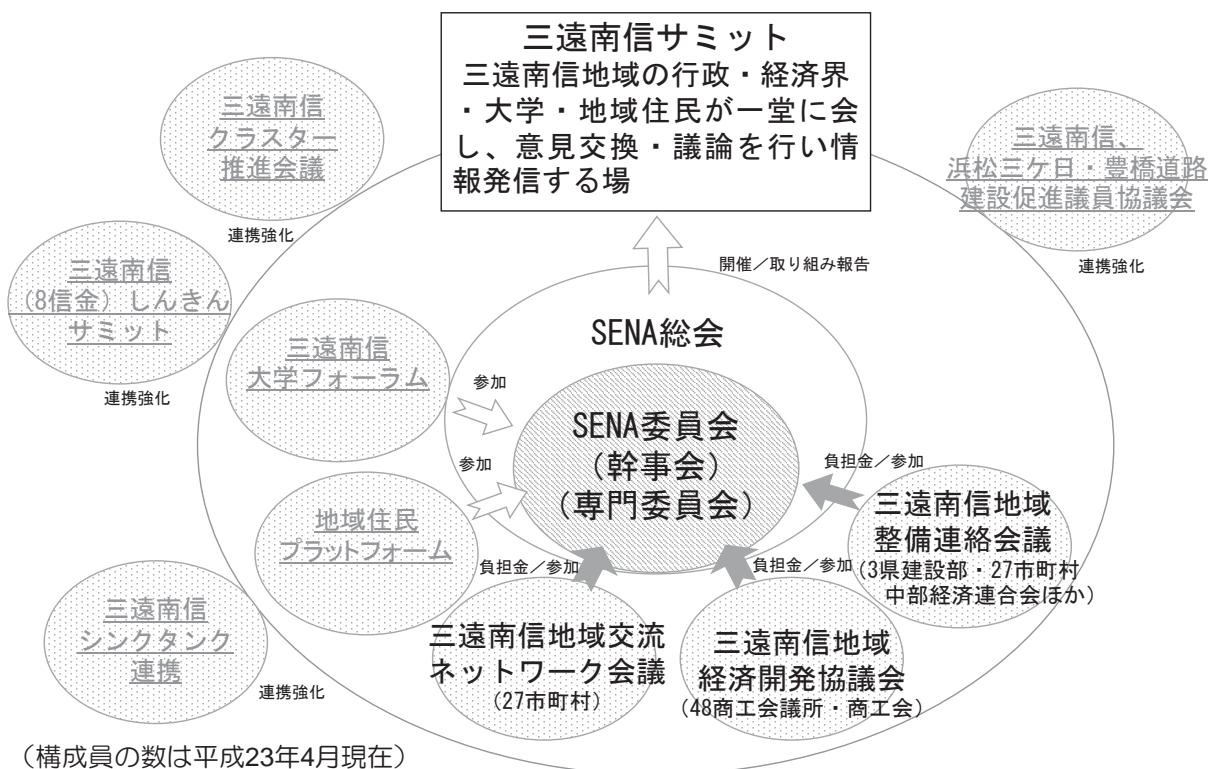
12

5 SENA組織体制（1）（現在のすがた）



13

SENA組織体制（2）（目指すべき姿）



14

Ⅲ 三遠南信地域の連携・交流事業の概要

1 第18回三遠南信サミット2010 in南信州の概要

日 時：平成22年11月12日（金）13:00～20:00
場 所：飯田文化会館・シルクホテル
テーマ：地域主権時代における県境地域連携モデルの推進
ー融合に向けた自発的な地域づくりの実践ー
主 催：三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）
共 催：三遠南信交流ネットワーク会議
三遠南信地域経済開発協議会
三遠南信地域整備連絡会議
後 援：国土交通省・経済産業省・農林水産省
長野県・静岡県・愛知県



- 1 各種総会/役員会
三遠南信地域経済開発協議会役員会
三遠南信地域住民セッション
- 2 全体会 ◆トップ対談
テーマ「地域主権時代における三遠南信地域の目指すべき姿」
コーディネーター：（財）東三河地域研究センター 常務理事 戸田敏行 氏
パネリスト：浜松市長、豊橋市長、飯田市長、
浜松商工会議所会頭、豊橋商工会議所会頭、飯田商工会議所会頭
- 3 分科会 「道」「技」「風土」「山・住」分野に関する議論
- 4 報告会 分科会成果報告、サミット宣言
- 5 交流会 三遠南信「地酒」サミット（地酒の試飲会）

15

1 第18回三遠南信サミット2010in南信州 <サミット宣言>②

地域主権時代における県境地域連携を自負と責任を持って先導

- 1 圏域の背骨となる三遠南信自動車道の早期開通をはじめ、リニア中央新幹線の早期開業と圏域北部の玄関口となるリニア中央新幹線飯田駅の設置を目指すとともに、東西南北高速移動時代に備えた浜松三ヶ日・豊橋道路等の整備、三遠伊勢連絡道路の実現に向け、三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）を中心とした強固な連携の下、地域一丸となって提言活動を進めます。
- 2 新産業の集積と基幹産業化、既存産業の再成長に向け、産学官金連携を一層強固にし、次世代輸送用機器、農商工連携、医工連携、光エネルギー環境分野の取り組みを加速させるとともに、海外市場も見据えながら広域的な展開を図ります。また、三遠南信地域の大学・研究機関等の連携を促進する三遠南信地域大学フォーラムの設置に向けた取り組みを進めます
- 3 三遠南信地域の塩の道エコミュージアムを構成する歴史的・文化的な地域資源の情報の一元化と発信体制の強化を図ります。また、三遠南信地域社会雇用創造事業を通して社会的企業を支える人材の育成や社会的企業の起業支援に取り組み、三遠南信250万流域都市圏を支える雇用創造ネットワークの構築を目指します。
- 4 安全・安心な地域づくりの実現に向け、地域住民の生命、身体、財産等を災害から守るために県境を越えた広域防災連携を推進します。また、中山間地域における定住促進や流域定住推進モデルの形成に向け、情報の一元化と圏域内外への発信体制の整備に取り組みます。
- 5 三遠南信地域の融合に向けて、広域連合など平成24年度からの新・連携組織への移行について準備を進めます。

16

2 三遠南信地域連携ビジョンの推進

三遠南信地域住民団体意向調査

- 1 事業費 290,136円
- 2 事業期間 平成23年2月10日から平成23年3月31日まで
- 3 事業内容 県境を越えて広域的に活動する住民団体に対する支援や、住民団体相互による連携体制の構築に向けた支援するための基礎資料として、以下の3点に焦点を当てたアンケート調査を実施。
①団体基本情報（2011年1月31日現在）、
②NPO法人や住民団体との交流・連携の意向
③NPO法人や住民団体との交流・連携ネットワーク構築
- 4 実施方法 592団体（愛知県、静岡県、長野県にNPO登録されている団体または住民セッションに参加経験のある団体）に対して実施。136団体から回答を得た。
- 5 実施結果
 - ・回答したどの団体も、他の団体との交流・連携の実績があった
 - ・「他団体の活動を参考にできた」「活動の幅が広がった」といった意見が連携・交流による効果として挙げられた。
 - ・交流・連携の必要性については多くの団体が認めている。
 - ・団体との交流・連携ネットワーク構築にあたっては、情報共有・交換のためのメーリングリスト等の仕組みやツールが整備が望まれている。
 - ・団体との交流・連携を図る意見交換会（交流会）の開催が期待されている。
- 6 結果報告 SENAホームページにて掲載 (<http://www.sena-vision.jp/news/026.html>)

17

3 三遠南信アンテナショップ開設の検討①

目的

三遠南信地域連携ビジョンの主要施策である「三遠南信地域ファンづくり」を推進し、地域の情報発信力を高め、地域固有の商品・サービスの提供を図る。

その情報発信と特産品販売の場となる、三遠南信アンテナショップ設置に向け、検討材料となる各種事業を行う。

①地域資源の販売 社会実験（平成21年1月24日～25日）

- ・場所 浜松市（べんがら横丁）
- ・内容 浜松市、豊橋市、飯田市等の拠点都市での地域資源の販売戦略の検討および情報発信のため特産品物産展を実施した。



②地域資源の販売 社会実験（平成21年1月31日～2月1日）

- ・場所 東京都板橋区（ハッピーロード大山商店街）
- ・内容 大都市部での地域資源の販売戦略の検討および情報発信のため、特産品物産展を実施した。



③商品評価会（平成22年3月12日）

- ・場所 浜松市（ホテルコンコルド）
- ・内容 三遠南信地域の物産を集め、小売業者・卸売業者による商品評価会を実施した。



18

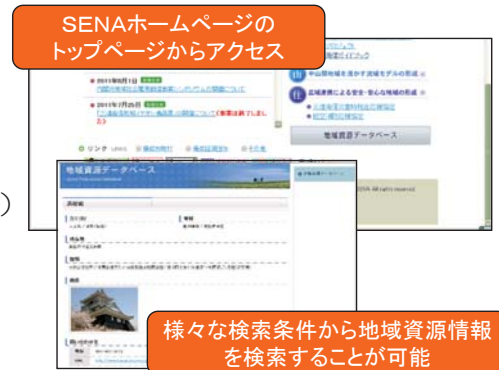
3 三遠南信アンテナショップ開設の検討②

- ④三遠南信ガイドブック（平成22年3月25日発行）
- ・内容 三遠南信地域の知名度・認知度の向上を図るため、三遠南信地域の魅力ある地域資源を紹介する情報誌「三遠南信ガイドブック」を発行。



- ⑤三遠南信「塩の道」物産展—ええじゃないか市—（平成23年3月20日～21日）
- ・場所 豊橋市（ジャスコ豊橋南店）
 - ・内容 三遠南信地域資源の魅力向上、差別化による独自ブランドの創出を目指し、圏域内への周知と情報共有を図ることを目的に社会実験を実施。

- ⑥三遠南信地域資源情報データベース（平成23年6月掲載）
- ・内容 小売業者、卸売業者、宿泊業者、飲食業者、マスコミ等が簡単に各種地域情報を閲覧することで、新たな連携の契機となるよう、広域地方計画先導事業において収集した地域資源情報を整理し、「三遠南信地域資源情報データベース」を作成した。



- ⑦イチオン逸品展（平成23年8月6日～7日）
- ・場所 飯田市（アイパーク）
 - ・内容 各地域が取り組む地域活性化や商品の販路拡大を後押しするため、社会実験として特産品物産展を実施。



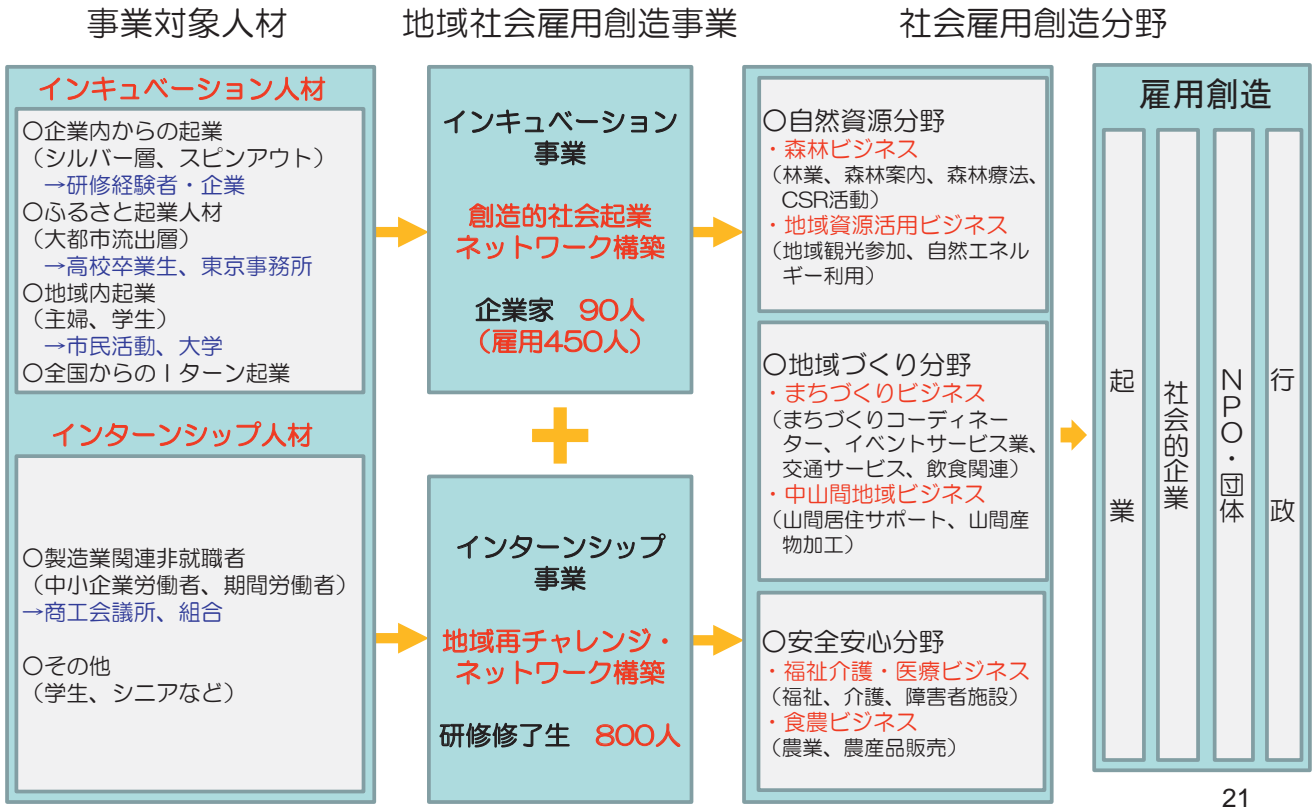
19

4 三遠南信地域社会雇用創造事業①

- | | |
|--------|--|
| 1 事業費 | 7億円（平成22年3月24日交付決定）
内閣府の「地域社会雇用創造事業」に応募し、採択（53事業者の応募のうち、採択は全国12事業者） |
| 2 事業期間 | 平成22年3月24日から平成24年3月31日まで |
| 3 事業目的 | 次の3分野において、社会起業インキュベーション事業及び社会的企業人材創出・インターンシップ事業を行うことにより、雇用創造のネットワーク・システムを構築し、社会的企業による継続的な雇用創造を図る。
(1) 自然資源を活用した雇用創造分野（森林ビジネス、地域資源活用ビジネス）
(2) 地域づくりによる雇用創造分野（まちづくりビジネス、中山間地域ビジネス）
(3) 安心安全を確保するための雇用創造分野（食農ビジネス、福祉介護・医療ビジネス） |
| 4 事業内容 | <p>【社会起業インキュベーション事業】</p> <p>三遠南信地域においてビジネスインキュベーションの実績を持つ諸機関と連携し、「企業内から発生する起業」、大都市及び全国へ流出した人材による「ふるさと起業」、地域内居住者による「地域内発起業」及び全国からの「Iターン起業」を支援します。</p> <p>数値目標：起業支援者数 90人</p> <p>【社会的企業人材創出・インターンシップ事業】</p> <p>三遠南信地域において社会活動の実績を持つNPO法人等と連携し、非就業者（期間雇用者等）、学生・シニアなどを対象としたインターンシップ事業を行い、社会的企業への就職を支援します。</p> <p>数値目標：インターンシップ研修修了生 800人</p> |
| 5 事業主体 | 三遠南信地域連携ビジョン推進会議 |

20

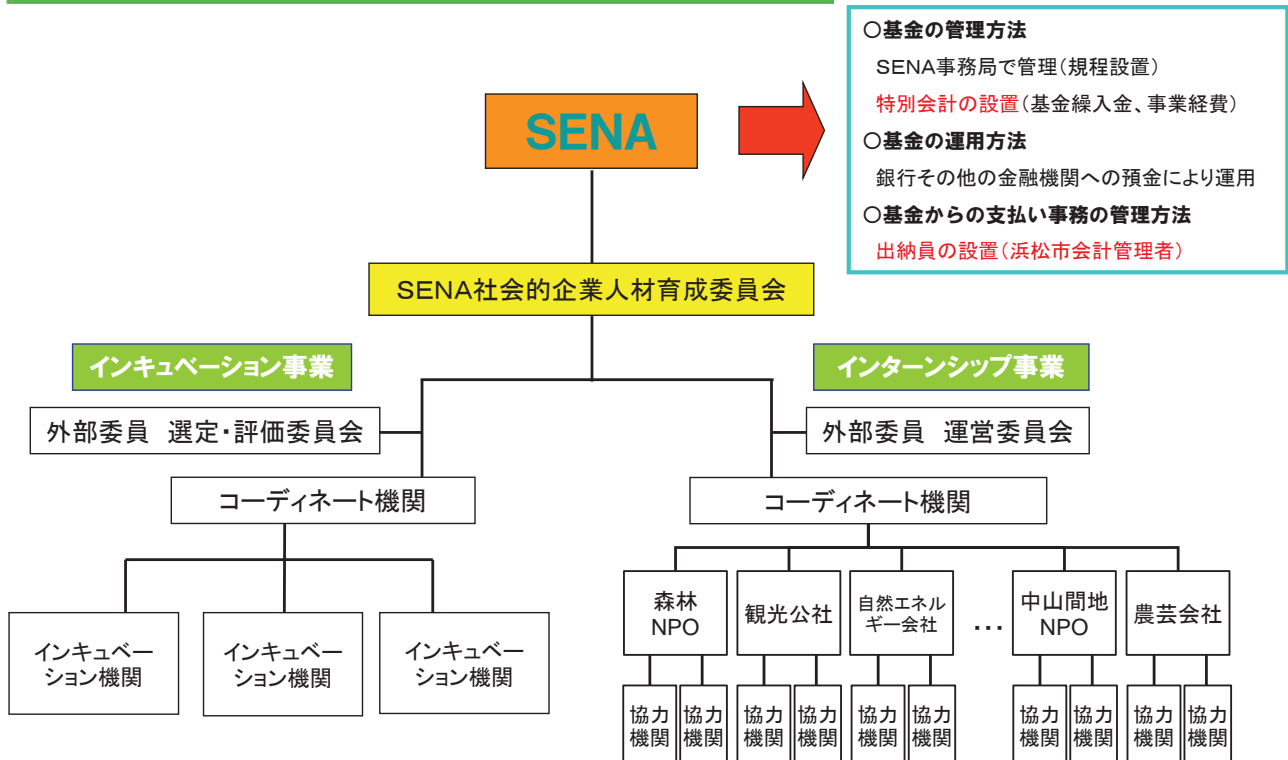
4 三遠南信地域社会雇用創造事業② 事業対象人材と雇用創造分野



21

3 三遠南信地域社会雇用創造事業③

推進体制及び基金の運用・管理方法



22

4 三遠南信地域社会雇用創造事業④ H23上半期までの実績

【社会起業インキュベーション事業】 起業支援者数 84人

◆起業支援対象者数（起業地域別）

（H23.10.1現在）

地域名	第1期		第2期		第3期		第4期		合計	
	起業支援対象者	起業者	起業支援対象者	起業者	起業支援対象者	起業者	起業支援対象者	起業者	起業支援対象者	起業者
東三河	10	2	9	4	14	0	9	0	42	6
遠州	5	3	6	0	8	0	11	0	30	3
南信州	1	1	3	0	3	0	5	0	12	1
合計	16	6	18	4	25	0	25	0	84	10

【社会的企業人材創出・インターンシップ事業】

インターンシップ研修修了生 864人

◆研修申込・修了者数（住所地域別）

（H23.10.1現在）

地域名	第1期		第2期		第3期		第4期		第5期		第6期		合計	
	申込者数	修了者数	申込者数	修了者数	申込者数	修了者数	申込者数	修了者数	申込者数	修了者数	申込者数	修了者数	申込者数	修了者数
東三河	43	39	53	48	35	31	69	65	50	42	52	0	302	225
遠州	37	29	76	69	139	128	146	135	149	135	152	0	699	496
南信州	1	1	32	26	19	12	15	12	4	4	5	0	76	55
その他地域	25	24	12	10	29	27	13	12	20	15	27	0	126	88
合計	106	93	173	153	222	198	243	224	223	196	236	0	1,203	864



5 三遠南信地域の取り組み（各地域における連携事業等）

（1）産業連携

①光・電子技術イノベーション創出拠点（地域中核産学官連携拠点）H21.6.18採択

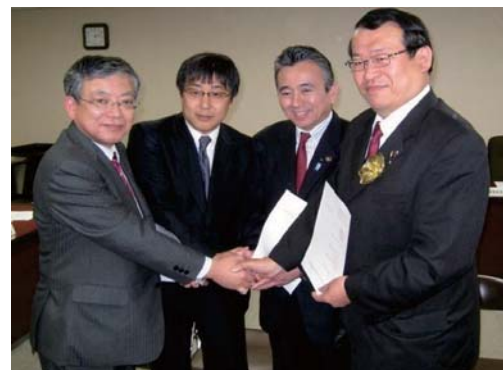
新産業創成のため、次代を担う世代の理数教育や産業支援人材を含めた、中・長期的な人材育成を徹底的に行うとともに、垂直型からネットワーク型への産業構造の転換を進める。
（浜松・東三河地域）

②三遠南信地域基本計画 H22.3.25同意

ものづくり基盤技術と先端光・電子技術を活かして新産業の創出を図り、10年後の基幹産業化を目指す。
（浜松市、豊橋市、飯田市）

地域企業立地促進等事業費補助事業

平成22年4月1日から、平成27年3月31日までの5年間にわたって「三遠南信クラスター推進会議」が進める事業が採択される予定。平成22年度から各種シンポジウムやセミナー、連携事業が実施されている。



同意書交付式：平成22年4月2日

③浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション【地域イノベーション戦略推進地域】 H23.8.1採択

最先端の光・電子技術を基盤として、「輸送機器用次世代技術産業」「新農業」「健康医療産業」「光エネルギー産業」の新産業4分野の基幹産業化を図ることにより、より良いQOL（Quality of Life）を志向する安全・安心・快適で持続的に成長可能な社会を実現する。（浜松・東三河地域）

◆三遠南信(浜松市・豊橋市・飯田市)の基本計画の概要

【地域のポテンシャル】

- 輸送用機器、精密加工産業の全国的集積地域
- 全国有数の農業生産額
- 世界水準の光・電子関連技術・産業

【地域ビジョン】

- 「三遠南信地域連携ビジョン(H20.3策定)」
- 産学官連携拠点「光・電子技術イノベーション創出拠点(H21.6認定)」

【計画のポイント】

三遠南信(浜松市・豊橋市・飯田市)地域において、知と産の融合、企業間連携、異業種・異分野融合等による三遠南信広域イノベーションクラスターの創成を通じて、当該地域で高いポテンシャルを有する輸送機器用次世代技術産業、健康・医療関連産業、新農業、光エネルギー産業の4分野における新産業の集積と基幹産業化の実現を目指す。

【1. 集積区域】

静岡県浜松市、愛知県豊橋市、長野県飯田市 (可住地面積) 821.91ha

【2. 集積業種】

①輸送機器用次世代技術産業 ②健康・医療関連産業 ③新農業 ④光エネルギー産業

【3. 成果目標(目標年次:平成26年度)】

- 新規事業件数 3,360件
- 製造品出荷額 9,750億円
- 新規雇用創出数 10,000人

【4. 目標に向けた事業環境整備等】

- 三遠南信広域イノベーションクラスター形成
(次世代輸送用機器、航空宇宙、健康医療、新農業、光・電子)
- 人材育成 (コーディネータの戦略的育成、中長期的な人材育成)
- 事業環境整備 (三遠南信地域連携ビジョン推進会議、三遠南信ビジネスマッチング、首都圏等における展示商談会の実施等)

25

③次世代環境車の普及と産業化の促進

■はままつ次世代環境車社会実験協議会による社会実験の実施

平成22年5月17日、次世代環境車の普及と産業化の促進に向けた社会実験を行う「はままつ次世代環境車社会実験協議会」が設立されました。

この協議会には、産業界、大学、行政から15の機関が参加し、総力をあげて社会実験に取り組みます。平成23年11月からエリアを三遠南信地域に拡大し、豊橋市、飯田市において、社会実験を行う予定です。

協議会活動は、車両走行実験、部品・制御技術開発、インフラ整備の3つの部会を中心に進めていきます。こうした新たな取り組みを通じて、地域経済の発展と高度な技術力を国内外に向けて発信します。



実験車両
PHV「スイフト レンジ・エクステンダー」



実験車両
ヤマハ発動機 EC-03

26

(2) 三遠南信自動車道等の建設促進

三遠南信自動車道

延長：約100kmの高規格幹線道路
区間：長野県飯田市山本～静岡県浜松市北区三ヶ日町

提案活動の状況（平成22年度）

- ①三遠南信道路建設促進期成同盟会
【構成】県、市町村
・6月、12月に提案活動
- ②三遠南信自動車道早期開通期成同盟会
【構成】商工会議所・商工会・11JA
・6月経済開発協議会役員会時に選出国會議員に要望
・12月に提案活動
- ③三遠南信、浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進議員協議会
【構成】東三河、遠州及び南信州の市町村議会
・11月に提案活動
- ④3市提言（12月）
・豊橋市長、飯田市長、浜松市長が国交省に提案活動

○三遠南信自動車道

平成23年度 鳳来IC-引佐JCT間開通予定
平成23年度 現道区間：国道152号 向井万場拡幅
(豆腐橋、豆腐トンネル) 開通

○新東名高速道路

平成24年度 御殿場JCT-浜松いなさJCT間 開通予定
平成26年度 引佐JCT-豊田東JCT間 開通予定

○引佐連絡道路

平成24年度 引佐JCT-三ヶ日JCT間 開通予定



引佐JCT(新東名から引佐連絡路へ入る高架橋の上)から、引佐北IC方面を望む (H23.2.7現在)



三遠道路の上で、引佐北IC(仮称)側から引佐JCTを望む (H23.2.7現在)

27

(3) リニア中央新幹線飯田駅の設置

三遠南信圏域の東西-南北の連携基軸によって、
圏域全体の活性化に大きな役割を担う。

リニア飯田駅の
設置により
南信州は
三遠南信地域の
北の玄関口に！



リニア中央新幹線の
開業

東海道新幹線
ひかり停車数の増加

28

(4) 防災・医療連携

① 浜松市消防ヘリコプターの広域運用

- ・平成22年5月運用開始（浜松市域内）
- ・災害救助や遠距離の救急搬送
- ・浜松市と隣接市が消防ヘリコプターに関する応援協定を締結
（平成22年3月30日締結、7月施行）
- ・浜松市と豊川市、蒲郡市、田原市が航空消防に関する応援協定を締結
（平成22年6月29日締結、7月施行）



三遠南信地域での活躍も期待される
浜松市消防ヘリコプター「はまかぜ」

② 三遠南信災害時相互応援協定

- ・平成8年7月に締結
- ・平成17年11月に改定（災害時の初動体制の迅速化等の見直し）
- ・災害時に救出・救護・応急や職員派遣、資機材・物資の供給
- ・毎年、災害備蓄品の相互応援供給訓練や情報伝達体制の確認

- ◆平成22年7月16日 飯田市からの給水車派遣要請があり、
応援協定に基づき給水車が派遣された。
- ・浜松市 2トン給水車1台、4トン給水車1台
 - ・袋井市 2トン給水車1台 ・磐田市 1トン給水車3台
 - ・豊橋市 2トン給水車1台 ・田原市 2トン給水車1台
 - ・豊川市 1.8トン給水車1台



給水活動の様子(飯田市内)

29

(5) 経済団体等との交流・連携①

① 三遠南信「街道浪漫」クイズラリーの実施

- ・目的 三遠南信地域の産業や特産品をPRするため
- ・期間 平成22年7月1日（木）～11月30日（火）
- ・内容 3圏域にそれぞれ10カ所クイズの出題地点設定
30カ所すべてに解答する街道浪漫満喫コース
（抽選で5万円相当のペア宿泊券と旅行券 3組）
各圏域を3カ所計9カ所に答える街道ぶらり散策コース
（各地域の特産品）
- ・主催 三遠南信地域経済開発協議会
- ・共催 三遠南信地域交流ネットワーク会議
三遠南信地域整備連絡会議
- ・後援 愛知県・静岡県・長野県
三遠南信地域連携ビジョン推進会議



② 三遠南信地域大学シンポジウム

「三遠南信地域における大学連携のすがた」をテーマとして、
三遠南信地域大学シンポジウムを平成23年10月24日（月）に
開催。各大学の学長等による意見交換を実施。

参加大学

東三河：愛知大学、豊橋技術科学大学、豊橋創造大学、
遠州：静岡産業大学、静岡大学、静岡文化芸術大学
静岡理工科大学、聖隷クリストファー大学

浜松医科大学、浜松学院大学、浜松大学、光産業創成大学院大学
南信州：飯田女子短期大学



30

(5) 経済団体等との交流・連携②

③ しんきん南信州地域研究所開設・三遠南信地域シンクタンク連携記念シンポジウム

- ・平成21年5月23日に飯田市で開催
- ・ビジョンの推進・評価、プロジェクトに向けた調査
- ・3地域のシンクタンクが協定の締結
東三河地域研究センター
静岡県西部地域信金しんきん研究所
しんきん南信州地域研究所



三遠南信地域シンクタンク連携記念シンポジウム

④ 第4回三遠南信（8信金）しんきんサミット

- ・平成23年10月22日（土）13:00～16:15
静岡新聞ホール（浜松市中区旭町11-1）
- ・基調講演・シンポジウム
- ・しんきん物産展11:00～16:00
ギャラリーモール（浜松市中区砂山町320-1）

飯田信用金庫 浜松信用金庫
磐田信用金庫 掛川信用金庫
遠州信用金庫 豊橋信用金庫
豊川信用金庫 蒲郡信用金庫



三遠南信しんきんサミット・物産展

31

(5) 経済団体等との交流・連携③

⑥ 第17回三遠南信ふるさと歌舞伎交流豊橋大会

- ・平成22年11月17日、豊橋市
- ・湖西歌舞伎保存会、豊橋素人歌舞伎保存会、大鹿歌舞伎保存会の共演

⑧ 三遠南信交流展

- 「ミュージアム・サミット ー美の競演ー」
- 平成21年10月10日～11月15日、豊橋市美術博物館
- 平成22年9月11日～10月11日、飯田市美術博物館
- 平成24年2月24日～3月25日、浜松市美術博物館、秋野不矩美術館



三遠南信ふるさと歌舞伎交流豊橋大会

⑨ 三遠南信教育サミット

- ・3地域の教育関係者が参加。基調講演や事例発表などを実施
- ・第15回 平成22年7月16日（金）
場所：グランビューオオミヤ（飯田市）
- ・第16回 平成23年7月15日（金）
場所：豊橋公会堂 大ホール



ミュージアムサミットちらし

32

(5) 経済団体等との交流・連携④

- ⑩第5回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2011
 - ・中小企業にビジネスマッチングの場を提供。
 - 販路拡大・受注 確保などビジネスチャンス創出の機会創出。
 - 遠州地域以外からも参加している。
 - ・平成23年7月20日～21日
 - ・アクトシティ浜松 展示イベントホール
- ⑪第25回峠の国盗り綱引き合戦
 - ・浜松市水窪地区と飯田市南信濃地区の交流イベント
 - ・平成23年10月23日(日) 予定
 - ・場所：兵越峠
- ⑫豊橋・浜松・飯田中学生交流
- ⑬第13回三遠南信文化交流 合唱のつどい
- ⑭三遠南信女性交流事業(浜松・豊橋・飯田の41団体)
- ⑮第13回三遠南信地域資料展(豊橋図書館)
- ⑯蝉しぐれの盆(三遠南信地域の念仏踊り)
- ⑰南信州秋キャンペーン in 浜松 & 豊橋



第5回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2011



第24回峠の国盗り綱引き合戦

33

(6) 情報発信事業

- ①SENAホームページ
(三遠南信地域連携ビジョン推進会議)



- ②三遠南信エリア情報
(三遠南信地域交流NW会議)



- ③三遠南信紀行／中日新聞の特集記事



- ④東三河・南信レター(遠州版)

- ⑤三遠南信見聞録／南信州新聞社の特集記事

34

Ⅳ 国土形成計画における当ビジョンの位置づけ

①国土計画の変遷

- | | | |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・全国総合開発計画
（昭和37年～）
開発基調・量的拡大の計画 | → | <ul style="list-style-type: none"> 国土形成計画
（平成20年）
成熟社会型の計画 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・法律改正による抜本見直し、開発中心からの転換 | | |

②国土形成計画

- ・全国計画と全国8ブロックごとの広域地方計画
- ・地方公共団体からの提案制度、パブリックコメント

③中部圏広域地方計画

- ・圏域 長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県の5県
- ・計画期間 21世紀前半期を展望しつつ、おおむね10か年
- ・平成21年8月に国土交通大臣の認定
- ・14のリーディングプロジェクトのひとつとして、
「三遠南信流域都市圏活力向上プロジェクト」を位置づけ

35

中部圏広域地方計画の構成概要

区 域：長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県の5県（人口：約1,720万人、域内総生産：約77兆円）
中部圏広域地方計画協議会（会長：神田真秋 愛知県知事）※平成21年6月11日第2回協議会時点

（県・政令市）	（市長会・町村会）	（隣接地方公共団体）	（経済団体）
長野県知事 静岡市長	東海市長会会長（鳥羽市長）	富山県知事	中部経済連合会会長
岐阜県知事 浜松市長	東海四県町村会代表者（八百津町長）	石川県知事	東海商工会議所連合会会長
静岡県知事 名古屋市長		福井県知事	長野県商工会議所連合会会長
愛知県知事		滋賀県知事	静岡県商工会議所連合会会長
三重県知事			（国の地方支分部局の長）

キーコンセプト

ものづくりと環境貢献で
日本のロータリーとして
世界のまんなかへ

戦略目標

- 中部圏の資源を活かした国内外の多様な交流の拡大
- 世界のものづくりの中心地としての産業競争力の強化
- 持続可能な環境共生社会を実現する環境先進圏の形成
- 誰もが生き生きとして暮らせる地域社会の実現
- 安全・安心で災害にも強い地域づくり

プロジェクト

1 ものづくり産業の競争力強化PJ	8 農山漁村の活性化PJ
2 次世代産業イノベーションPJ	9 多文化共生先進圏づくりPJ
3 低炭素社会実現PJ	10 暮らしの安心・快適PJ
4 いきもの共生PJ	11 文化継承・創造PJ
5 国際ゲートウェイ中部PJ	12 災害克服PJ
6 まんなか巡り観光交流PJ	13 三遠南信流域都市圏活力向上PJ
7 高次都市機能・連携強化PJ	14 伊勢湾再生PJ

（他圏域との連携プロジェクト）

1 東北圏・首都圏連携PJ
2 北陸圏・近畿圏連携PJ

（北陸圏との連携プロジェクト）

1 まると北陸・中部観光魅力増進PJ
2 広域物流ネットワーク（日本海～太平洋）構築PJ
3 環白山・環北アルプス広域エコロジーPJ
4 広域防災・災害応援ネットワークPJ

36

13. 三遠南信流域都市圏活力向上プロジェクト

目的

- 三遠南信地域は、高度な産業が集積する地域である一方、中山間地域では、人口減少・少子高齢化傾向が著しく、伝統にはくまられた地域文化や、地域コミュニティの維持が課題となっている。こうした課題を解決し自立的な圏域を創造するため、「三遠南信地域連携ビジョン」の実現に向けた取組等を推進する。
- 三遠南信流域都市圏での取組を天竜川流域全体へも波及させることができるよう、天竜川上流部との交流・連携に取り組むほか、天竜川流域の保全に向けて山地から海岸までの一貫した総合的な土砂管理に取り組む。

具体的取組

(I) 三遠南信地域連携ビジョンの推進

人・モノ・情報の流動を進め、自立的な地域の創造を支える地域基盤を形成

- 県境を越えた流域圏の交流・連携を促進する道路ネットワークの必要な整備を推進する。
- 県境を越えたメディアの連携等により、更なる交流や企業連携の促進を図る。



出典：国土交通省資料

- 【主な取組】
- ・三遠南信自動車道
 - ・県境を越えたメディアの連携 等

既存産業の活力増進や新規産業の創造を図り、持続発展的な産業集積を促進

- 産学官での農工商連携等の取組により、特徴ある産業クラスターを形成する。
- 大学や研究機関等の連携を促進するなど、既存産業の活力増進や新規産業の創造を図り、持続発展的な産業の集積を促進する。

- 【主な取組】
- ・三遠南信バイタライゼーション協議会 等

情報発信やプラットフォームづくりを進め、塩の道エコミュージアムを形成

- 圏域内外における地域物産販路拡大に取り組むとともに、情報発信やプラットフォームづくりを進め、塩の道エコミュージアムの形成を図る。

- 【主な取組】
- ・三遠南信アンテナショップの開設 等

自然資源の循環を図り、中山間地域を活かす流域モデルを形成

- 健全な水・物質等の自然資源の循環を図るため、山地から海岸までの一貫した総合的な土砂管理の取組等を推進する。
- 新たな交流を生む流域モデルを形成し、住民の生活環境の維持と質的向上を図る。

- 【主な取組】
- ・佐久間ダム ・小洪ダム 等

上下流一環の総合土砂管理イメージ



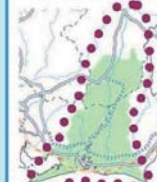
出典：中部地方整備局資料

広域連携による安全・安心な地域を形成

- 広域連携による安全・安心な地域を形成するため、県境を越えた医療・福祉サービスの連携促進や県境を越えた防災体制の整備等を推進する。

(II) ビジョンを後押しするための天竜川流域における連携した取組の推進

- 健全な水・物質循環の構築に資する水源地域の保全・活性化のため、多様な主体による連携を促進する。



- 【主な取組】
- ・諏訪湖水質保全計画の推進 等

<http://www.sena-vision.jp/>

三遠南信地域連携ビジョン推進会議

(SENA : San-En-Nanshin-Area-Relationship-Vision-Progressive-Conference)

SENA